



始めましょう

On-premises ONTAP clusters

NetApp
November 06, 2025

目次

始めましょう	1
NetApp ConsoleでのオンプレミスONTAPクラスタ管理について学ぶ	1
NetApp Console	1
機能	1
料金	1
NetApp ConsoleでオンプレミスのONTAPクラスタを検出する	2
ステップ1: 検出と管理のオプションを確認する	2
ステップ2: 環境を設定する	2
ステップ3: クラスタの検出	3

始めましょう

NetApp ConsoleでのオンプレミスONTAPクラスタ管理について学ぶ

AFF/ FASコントローラおよびONTAP Select上で実行されているONTAPクラスタをNetApp Consoleから管理できます。オンプレミスのONTAPシステムをコンソールに追加すると、すべてのストレージとデータ資産を一元管理できるようになります。

NetApp Console

NetApp Consoleは、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとデータサービスの集中管理を提供します。NetAppデータサービスにアクセスして使用するには、コンソールが必要です。管理インターフェースとして、1つのインターフェースから多数のストレージリソースを管理できます。コンソール管理者は、企業内のすべてのシステムのストレージとサービスへのアクセスを制御できます。

NetApp Consoleの使用を開始するためにライセンスやサブスクリプションは必要ありません。ストレージシステムまたはNetAppデータサービスへの接続を確保するためにクラウドにコンソールエージェントを展開する必要がある場合にのみ料金が発生します。ただし、コンソールからアクセスできる一部のNetAppデータサービスは、ライセンスまたはサブスクリプションベースです。

詳細はこちら ["NetApp Console"](#)。

機能

- NFSおよびCIFSボリュームを管理する
- コンソールから任意の管理対象クラスタのONTAP System Manager にアクセスします。
- 分析と制御による健全性とパフォーマンスの観測性を実現
- データサービスを使用して、データの複製、バックアップ、スキャン、分類、階層化を行います。
- コンソールでハードウェアとソフトウェアの契約ステータス情報を表示する

料金

コストがかかる場合があります。コストは次のような要素によって異なります。

- コンソールエージェントをデプロイしてクラスタを検出および管理する場所。

コンソールエージェントは、クラウドまたはオンプレミスにインストールできます。クラウドにコンソールエージェントをインストールすると、コストが発生します。

- NetApp Backup and Recovery、NetApp Ransomware ResilienceなどのNetAppデータサービスを使用するかどうか。

NetApp ConsoleでオンプレミスのONTAPクラスターを検出する

NetApp ConsoleからオンプレミスのONTAPクラスターを検出し、コンソールから直接ONTAP System Manager を使用してボリュームの管理と高度な管理を実行できるようになります。

必要なコンソールロール:

ストレージ管理者またはシステムヘルススペシャリスト。"[NetApp Consoleのアクセス ロールについて学習します。](#)"

ステップ1: 検出と管理のオプションを確認する

オンプレミスのONTAPクラスターをコンソールに追加するには、2つの方法があります。選択方法は、組織にコンソール エージェントがインストールされているかどうかによって異なります。

コンソールエージェントを使用した検出と管理

このオプションを使用すると、次の機能を使用してONTAP 8.3以降を実行しているクラスターを管理できません。

- NetApp Consoleを通じて基本的なボリューム操作をネイティブに提供します
- ONTAP System Manager (ONTAP 9.10.0以降でサポート) では、コンソールから各クラスターのSystem Managerに直接アクセスできます。
- データ複製、バックアップとリカバリ、データ分類、クラウド階層化を提供するNetAppデータサービスとの統合
- コンソール エージェントをインストールするには、組織管理者のロールが必要です。質問がある場合は、コンソール管理者にお問い合わせください。"[組織の管理者にお問い合わせください。](#)"

直接的な検出と管理

このオプションを使用すると、System Manager を使用してONTAP 9.12.1以降を実行しているクラスターを管理できます。他の管理オプションは利用できません。標準ビューを使用することはできず、NetAppデータサービスを有効にすることもできません。

このオプションにはコンソール エージェントは必要ありません。

コンソールに接続して9.12.1以降を実行しているオンプレミスのONTAPクラスター上のSystem Managerにアクセスすると、コンソールから直接クラスターを管理するように求められます。このプロンプトに従うと、直接検出オプションを使用してコンソールでクラスターが検出されます。

クラスターが検出されると、コンソールのシステム ページでクラスターが利用できるようになります。

NetApp Consoleにコンソール エージェントを追加する場合は、未検出システム ページからオンプレミス クラスターを再度追加する必要があります。これにより、コンソールからのネイティブ管理とNetAppデータ サービスへのアクセスが可能になります。その後、他のシステムを削除する必要があります。

ステップ2: 環境を設定する

オンプレミスのONTAPクラスターを検出する前に、次の要件を満たしていることを確認してください。

一般要件

- クラスタ管理 IP アドレスと管理者ユーザー アカウントのパスワードが必要です。
- コンソールは、HTTPS を使用して ONTAP クラスタを検出します。カスタム ファイアウォール ポリシーを使用する場合、ONTAP クラスタはポート 443 経由の受信 HTTPS アクセスを許可する必要があります。

デフォルトの「mgmt」ファイアウォールポリシーでは、すべての IP からの受信 HTTPS アクセスが許可されます。変更された場合は、エージェント ホストで HTTPS プロトコルが有効になっていることを確認します。

コンソールエージェントでシステムを検出するには

- オンプレミス クラスタは ONTAP 8.3 以降を実行している必要があります。
- クラウド プロバイダーまたはオンプレミスにコンソール エージェントがインストールされている必要があります。

コールド データをクラウドに階層化するには、ターゲット環境のエージェント要件を確認します。

- ["コンソールエージェントについて学ぶ"](#)
- ["複数のエージェントを切り替える方法を学ぶ"](#)
- ["NetApp Cloud Tieringについて学ぶ"](#)
- エージェント ホストはポート 443 (HTTPS) 経由の送信接続を許可する必要があり、ONTAP クラスタはポート 443 経由のクラスタ管理 LIF への受信 HTTP アクセスを許可する必要があります。

エージェントがクラウド内にある場合、事前定義されたセキュリティ グループによってすべての送信通信が許可されます。

直接証拠開示の要件

- オンプレミス クラスタは ONTAP 9.12.1 以降を実行している必要があります。
- クラスタには、NetApp Console サービスへの受信および送信接続が必要です。

<https://cloudmanager.cloud.netapp.com/ontap-service/check-service-connection>

- コンソールにアクセスするために使用するコンピューターには、プライベート ネットワーク内の他のリソースへの接続を提供するのと同様に、オンプレミスの ONTAP クラスタへのネットワーク接続が必要です。

ステップ3: クラスタの検出

コンソールからオンプレミスの ONTAP クラスタを検出するには、次の 2 つの方法のいずれかを使用します。

- ストレージ > 管理 > システム から、追加 + を選択し、オンプレミスの ONTAP クラスタの詳細を手動で追加します。
- ストレージ > 管理 > 検出可能なシステム から、NetApp Console ログインの電子メール アドレスに関連付けられている ONTAP クラスタに基づいてコンソールが事前検出したクラスタを選択します。

検出プロセスを開始すると、コンソールは次のようにクラスタを検出します。

- ONTAPクラスタに接続しているコンソール エージェントがある場合、コンソールはそのエージェントを使用してクラスタを検出および管理します。
- コンソール エージェントがない場合、またはエージェントがONTAPクラスタに接続されていない場合、コンソールは自動的に直接検出および管理オプションを使用します。

クラスターを手動で検出する

クラスター管理 IP アドレスと管理者ユーザー アカウントのパスワードを入力して、コンソールでオンプレミスのONTAPクラスターを検出します。

手順

1. ナビゲーションメニューから、ストレージ > 管理 を選択します。
2. *システム*ページで、*追加+*を選択します。
3. *オンプレミス*を選択します。
4. On-Premises ONTAPの横にある **Discover** を選択します。
5. [Discover] ページで、クラスター管理 IP アドレスと管理者ユーザー アカウントのパスワードを入力します。
6. クラスターを直接検出する場合 (コンソール エージェントなし) は、[資格情報を保存] を選択します。

このオプションを選択すると、コンソールからシステムにアクセスするたびに資格情報を再入力する必要がなくなります。これらの資格情報は、独自のNetApp Consoleユーザー ログインに関連付けられています。これらは、NetApp Console組織内の他のユーザーが使用するために保存されるわけではありません。

7. *Discover*を選択します。

コンソール エージェントがなく、コンソールから IP アドレスにアクセスできない場合は、コンソール エージェントを作成するように求められます。コンソール エージェントがない場合は、コンソール管理者に問い合わせるコンソール エージェントを作成してください。

結果

コンソールは、検出されたクラスターを システム ページにシステムとして追加します。これでクラスターの管理を開始できます。

- ["直接検出されたクラスターを管理する方法を学ぶ"](#)
- ["コンソールエージェントで検出されたクラスターを管理する方法を学びます"](#)

事前に検出されたクラスターを追加する

コンソールは、ログイン メールにリンクされているONTAPクラスターを検出し、**Discoverable systems** ページに未検出のクラスターとして表示します。検出されていないクラスターのリストを表示し、一度に1つずつ追加できます。

タスク概要

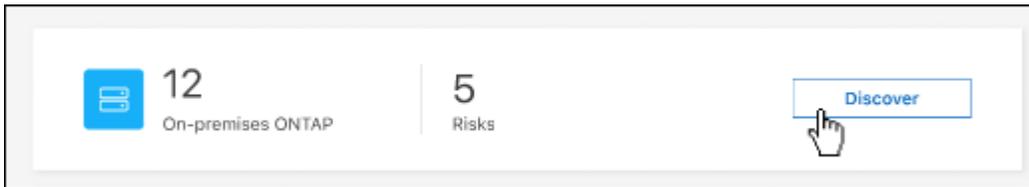
Discoverable systems ページに表示されるオンプレミスのONTAPクラスターについては、次の点に注意してください。

- コンソールにログインするために使用する電子メール アドレスは、登録済みのフルレベルのNetApp サポート サイト (NSS) アカウントに関連付けられている必要があります。
 - NSS アカウントを使用してコンソールにログインし、「**Discoverable systems**」ページに移動すると、コンソールはその NSS アカウントを使用して、アカウントに関連付けられているクラスターを検索します。

- ローカル アカウントまたはフェデレーション接続を使用してコンソールにログインし、**Discoverable systems** ページに移動すると、コンソールによって電子メールの確認が求められます。その電子メール アドレスが NSS アカウントに関連付けられている場合、コンソールはその情報を使用して、アカウントに関連付けられているクラスターを検索します。
- コンソールには、AutoSupportメッセージをNetAppに正常に送信したONTAPクラスターのみが表示されます。
- インベントリ リストを更新するには、**Discoverable systems** ページを終了し、5 分待ってから再度ページに戻ります。

手順

1. ナビゲーション メニューから、ストレージ > 管理 を選択します。
2. **Discoverable systems** ページで、オンプレミスのONTAPの * 検出 * を選択します。



3. クラスターを選択し、[検出] を選択します。

ONTAP clusters (12)						Discover
Cluster name	ONTAP cluster IP	OS version	Cluster UUID	Show or hide cluster (12)		
<input checked="" type="checkbox"/> Cluster_name	192.158.1.38	9.1	759995470648	Show	▼	
<input type="checkbox"/> Cluster_name	192.158.1.38	11.3.0.13	759995470648	Show	▼	
<input type="checkbox"/> Cluster_name	192.158.1.38	9.1	759995470648	Show	▼	

4. 管理者ユーザーアカウントのパスワードを入力します。
5. *Discover*を選択します。

コンソール エージェントがなく、コンソールから IP アドレスにアクセスできない場合は、コンソール エージェントを作成するように求められます。コンソール エージェントがない場合は、コンソール管理者に問い合わせることでコンソール エージェントを作成してください。

- "直接検出されたクラスターを管理する方法を学ぶ"
- "コンソールエージェントで検出されたクラスターを管理する方法を学びます"

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。